

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	地域活性化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課
		実施期間	S45頃～	E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見 6-1 個性豊かな地域づくりの推進				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ・地域住民が、自らの地域の価値を捉え直し、地域内外の多様な主体と交流・連携しながら、主体的に地域づくりに取り組むなど、自治の力を発揮しながら持続可能な暮らしが営まれている。 【これまでの取組】 ・地域住民が、地域の価値を捉え直し、協働による地域づくり活動等に向けた後押しをする中間支援人材（まちむら寄り添いファシリテーター）の養成研修を実施 ・地域おこし協力隊の受入や定着促進のため、市町村の募集支援や広域単位のネットワーク形成、隊員向け研修、長野県地域おこし協力隊員を配置して調査研究等を実施 ・特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・中間支援人材養成研修修了生（まちむら寄り添いファシリテーター）が地域において場づくり等の活動を継続できるよう、関係者とのネットワークづくりを含めたフォローアップが必要。 ・地域おこし協力隊が任期後に地域へ定着するためには、任期中に地域住民や行政等と協力、協働して活動することが重要であるが、ミスマッチやサポートが不足している。 ・人口減少、高齢世帯の増加により、自力での屋根の雪下ろし等が困難な世帯が増加し、共助による取組を進める必要がある。 </td> <td> ・修了生のファシリテーターとしての活動を支援するとともに、修了生と各種コーディネーター等との関係構築を図り、対話と実践による地域づくりを推進していく。 ・地域おこし協力隊の受入・活躍や協働を促進するため、10局毎のサポートネットワークや隊員向け研修等による支援、長野県地域おこし協力隊員による協働に関する事例の調査研究や情報発信を行っていく。 ・引き続き、本事業の実施を通じて大雪時における人的被害、住家被害の防止を図っていく。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・中間支援人材養成研修修了生（まちむら寄り添いファシリテーター）が地域において場づくり等の活動を継続できるよう、関係者とのネットワークづくりを含めたフォローアップが必要。 ・地域おこし協力隊が任期後に地域へ定着するためには、任期中に地域住民や行政等と協力、協働して活動することが重要であるが、ミスマッチやサポートが不足している。 ・人口減少、高齢世帯の増加により、自力での屋根の雪下ろし等が困難な世帯が増加し、共助による取組を進める必要がある。
課 題	今後の方向性			
・中間支援人材養成研修修了生（まちむら寄り添いファシリテーター）が地域において場づくり等の活動を継続できるよう、関係者とのネットワークづくりを含めたフォローアップが必要。 ・地域おこし協力隊が任期後に地域へ定着するためには、任期中に地域住民や行政等と協力、協働して活動することが重要であるが、ミスマッチやサポートが不足している。 ・人口減少、高齢世帯の増加により、自力での屋根の雪下ろし等が困難な世帯が増加し、共助による取組を進める必要がある。	・修了生のファシリテーターとしての活動を支援するとともに、修了生と各種コーディネーター等との関係構築を図り、対話と実践による地域づくりを推進していく。 ・地域おこし協力隊の受入・活躍や協働を促進するため、10局毎のサポートネットワークや隊員向け研修等による支援、長野県地域おこし協力隊員による協働に関する事例の調査研究や情報発信を行っていく。 ・引き続き、本事業の実施を通じて大雪時における人的被害、住家被害の防止を図っていく。			
令和2年度点検結果 ・ 現状分析				

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓ 地域づくり活動に寄り添う中間支援人材育成及び活動支援 ・修了生が活動を継続するためのフォローアップを実施 ・修了生とともに実践活動を行う人材育成講座を実施 ・修了生と各種コーディネーター等との交流会を開催 ・HPでの修了生の活動事例等の情報発信	 <p>まちむら寄り添いファシリテーター養成講座の様子</p>
	✓ 市町村地域おこし協力隊員の受入・定着を促進 ・市町村協力隊員の合同募集説明会を開催 ・10地域振興局毎に協力隊のサポートネットワークを運営 ・協力隊員の活動ステージに応じた研修を開催	 <p>隊員向けステップアップ研修の様子</p>
	✓ 長野県地域おこし協力隊員を配置 ・市町村協力隊員や市町村職員、関係者等に取材を実施 ・市町村協力隊員を取り巻く課題や事例の分析、情報発信を実施	 <p>県隊員による活動報告会の様子</p>
	✓ 特別豪雪地帯での暮らしを支える克雪対策を推進 ・高齢者等対象世帯の家屋の屋根等の除排雪、住居から生活道路までの除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施	

指標の状況及び目標値 [/ : 改善、\ : 悪化、→ : 変化なし]					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値
1	中間支援人材育成講座修了生のうち活動した者の割合	—	—	65%	65%
2	市町村地域おこし協力隊員の定着率	77.0%	77.4%	↗ 75.0%	→ 75.0%
3					
4					
5					

事業コスト	区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
	予算額	前年度繰越		0	72,400
当初予算			21,634	18,788	要求 20,625 予算案 20,459
補正予算			100,000	4,999,696	
合計(A)			121,634	5,090,884	要求 20,625 予算案 20,459
うち一般財源			29,667	23,669	要求 19,959 予算案 19,959
	決算額(B)		36,405		
	職員数(人)		6.3	7.8	6.0

成果指標設定理由	①修了生が住民や多様な主体と行う活動が、持続可能な地域づくりに資するため ②市町村地域おこし協力隊員の任期終了後の地域への定着が、地域の活力確保に資するため
----------	---

予算要求からの主な変更点	地域における学びと自治の場づくり促進事業について、国庫補助事業の制度決定を踏まえ、事業内容を精査し減額。
--------------	--

事業名	地域活性化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
1	地域における学びと自治の場づくり促進事業	3,964 千円	4,110 千円	要求 2,618 予算案 2,452 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	中間支援人材の活動に対するフォロー研修等の開催	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・修了生が活動を継続するためのフォローアップを実施 ・修了生とともに実践活動を行う人材育成講座を実施 ・修了生と地域づくりに関わる各種コーディネーター等との交流会を開催 ・HPでの修了生の活動事例等の情報発信 	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
2	地域おこし協力隊 受入・活躍支援事業	4,683 千円	4,614 千円	要求 4,590 予算案 4,590 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	市町村地域おこし協力隊員の受入・活躍の支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村地域おこし協力隊員の合同募集説明会を開催 ・市町村地域おこし協力隊員・隊員OBOG・行政職員からなるサポートネットワーク(10地域振興局)における情報共有を実施 ・市町村地域おこし協力隊員の活動ステージに応じた研修を実施 	
2	長野県地域おこし協力隊員の配置	委託	長野県地域おこし協力隊員を配置し、市町村地域おこし協力隊員の活動を契機とする協働の現場の調査研究や見える化(取材・分析・情報発信)を実施	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
3	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業	6,600 千円	6,402 千円	要求 6,082 予算案 6,082 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業補助金	補助金	特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者(住宅除雪支援員)の派遣に要する経費に対する補助を実施	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
4	地域づくり団体全国研修交流会事業	0 千円	150 千円	要求 100 予算案 100 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	第39回地域づくり団体全国研修交流会長野大会の準備	負担金	第39回地域づくり団体全国研修交流会長野大会(R4開催)実行委員会に対し、負担金を支出	

事業名	地域活性化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
5	地域づくり活動推進事業	4,115 千円	3,512 千円	要求 予算案	7,235 7,235 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	地域づくりネットワーク負担金	負担金	県内の地域づくり団体の交流の促進、リーダー育成等の取組を行う協議会に対し、負担金を支出
2	(一財)地域活性化センター運営負担金	負担金	地域活性化のための諸活動を支援するセンターに対し、負担金を支出
3	全国過疎地域自立促進連盟負担金	負担金	全国の過疎地域が連携して、過疎対策事業の充実強化を図ることを目的に設立された連盟に対し、負担金を支出
4	全国山村振興連盟負担金	負担金	全国における山村地域振興のため、関係者相互の緊密な連携・提携を図る連盟に対し、負担金を支出
5	全国積雪寒冷地帯振興協議会分担金	負担金	積雪寒冷地帯の道府県、市町村が緊密に連携し、大規模豪雪災害や関係基本法制度の見直しに対処する協議会に対し、分担金を支出
6	その他地域活性化推進経費	直接	職員の旅費、事務消耗品等